

■2017年11月 生活歳時記（気候・消費動向・ストア販売動向）

関東版

週	第1週					第2週					第3週					第4週				第5週												
2017年 日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1	
2017年 曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
行事歳時記念日	泡盛の日 紅茶の日 すしの日 玄米の日 本格焼酎の日 野沢菜の日 味噌の日 調味料の日 みかんの日				いいいりんの日 母の日		もも鍋の日 鍋の日	いいい歯並びの日 お肌の日			きりたんぼの日 豚まんの日	もやしの日 鱈の日	ビーナッツの日		こんぼこの日 かまぼこの日	自然薯の日	運根の日			カキフライの日 カサビ海ヨーグルトの日	いいい夫の日 かきフライの日	いいい夫の日 かきフライの日	いいい夫の日 かきフライの日	いいい夫の日 かきフライの日			いいいブルーンの日		いいい肉の日	本みりんの日	カレー南蛮の日	
◆亥の子(11/1)					◆文化の日(11/3)					◆立冬(11/7)					◆七五三(11/15)				◆勤労感謝の日(11/23)													
◆文化祭・秋の行楽シーズン					◆土用の明(秋の節分)(11/6)					◆ボジョレーヌーボー解禁(11/16)				◆小雪(11/22)				◆給料日														
2016年 日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1	
2016年 曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
東京	天気 最高気温 最低気温	雨後晴 16.4	曇時々雨 12.2	晴 19.4	晴一時曇 18.8	晴一時曇 19.5	快晴 20.8	晴 14.4	曇一時晴 13.6	曇時々曇 14.6	曇 13.0	雨 12.1	晴一時曇 18.8	晴一時曇 18.6	曇時々雨 16.7	曇 19.3	曇一時曇 14.8	晴一時曇 18.3	雨時々曇 15.7	曇時々晴 12.0	曇時々晴 20.4	曇時々雨 14.7	晴一時雨 19.3	曇一時雨 14.7	曇時々曇 8.6	晴一時曇 10.8	晴後曇 13.1	曇時々雨 13.8	曇時々晴 14.0	曇時々曇 14.3	曇一時晴 11.8	雨後曇 16.5
新潟	天気 最高気温 最低気温	雨 13.0	晴一時曇 14.8	曇時々雨 15.1	晴時々曇 15.4	快晴 19.4	曇一時晴 15.7	曇一時晴 13.0	曇後雨 17.0	曇時々雨 9.5	曇時々晴 9.7	曇時々雨 15.4	晴一時曇 17.5	晴一時曇 19.6	曇時々雨 20.6	曇時々雨 16.3	曇時々曇 11.9	曇時々曇 9.7	曇時々曇 14.9	雨 13.1	曇一時曇 18.5	曇時々曇 14.6	晴時々曇 16.6	雨後曇 7.4	曇時々曇 8.5	曇一時雨 7.4	曇時々曇 12.7	曇時々曇 10.8	曇時々曇 11.1	曇時々雨 9.7	曇一時曇 9.1	曇一時曇 16.1
年間支出順位	内食順位:30位(平日:24位・休日:46位)					内食順位:20位(平日:5位・休日:49位)					内食順位:38位(平日:32位・休日:36位)				内食順位:15位(平日:12位・休日:47位)				内食順位:23位(平日30位・休日:15位)													

■2016年11月資料

※総務省 家計調査より

関東	前年11月消費支出金額			前年11月食費支出金額			前年11月光熱費支出金額			北陸	前年11月消費支出金額			前年11月食費支出金額			前年11月光熱費支出金額		
	291,753円			79,044円			17,820円				279,897円			74,967円			21,896円		
	前年同月差異			前年同月差異			前年同月差異				前年同月差異			前年同月差異			前年同月差異		
	-3,709円			-2,740円			39円				-11,059円			-5,072円			-1,257円		
	前月差異			前月差異			前月差異				前月差異			前月差異			前月差異		
	-6,052円			-2,284円			852円				-28,480円			-7,775円			1,965円		

SM売上総額前年比(前月)		11月の注目アイテム年間順位(16年家計調査データより)					
※日本スーパーマーケット協会マンスリーレポートより		注目アイテム					
102.2% (102.1%)	青果	キャベツ	2	1	4	3	8
113.0% (106.3%)	精肉	はくさい	2	3	4	1	7
100.8% (100.5%)	鮮魚	もやし	1	2	3	9	16
97.4% (99.6%)	惣菜	だいこん	1	3	10	9	7
102.4% (102.5%)	日配加工食品	りんご	9	12	3	5	2
101.8% (102.9%)	他	柿	2	3	1	8	6
100.7% (101.9%)		鶏肉	15	6	10	18	7
生活関連		ぶり	23	21	16	20	7
100.6% (100.9%)		かき(貝)	19	16	17	14	10
		他の主食的調理食品	14	12	7	4	8
		他の魚肉練製品	10	7	6	3	14
		チーズ	11	23	5	3	13
		スパゲッティ	47	23	49	7	44
		つゆ・たれ	8	10	12	7	5
		ワイン	12	40	3	7	17
		年間順位	ベスト10以内		注目週	(赤字)	

●野菜は相場高の影響を受け、販売点数が減少したものの、単価上昇により売上を引上げた。
●野菜が高かったことから、価格が相場に左右されないカット野菜やもやしが好調であった。
●果物は、糖度が高く食味が良かったみかんが好調であった一方、いちごや相場高だったりんごが不調であった。

●牛肉は好調とのコメントが多かった。ステーキや切り落としが売上を伸ばした。
●豚肉、鶏肉は不調であった。鍋需要の低迷により、豚肉のうす切り肉や鶏肉の切身などの動きが鈍かったことが要因。
●加工肉は、WHOの研究機関による発がんリスクの発表から1年が経過し、一部に回復傾向がみられるものの、対前年の売上からの伸びは低い。

●刺身が好調とのコメントが多かった一方、鍋物商材は好不調が分かれる結果であった
●生するめいか、生秋鮭が不調であった。水揚げ量の減少や相場高など、販売環境が厳しい状況が続いている。

●天ぷらやフライ、鶏の唐揚げなどの揚げ物が好調であった。
また、カキフライの販売強化の事例が多く、大粒の展開やばら売りに伴って成功している。
●前月に引き続き、野菜が高いことからサラダや和惣菜が好調であった。

●引き続き、ヨーグルトが好調となっている。インフルエンザ流行の兆しにより、更にニーズが高まっている。
●加工食品は、米が好調であったほか、鍋つゆ、スープ、即席めんなどが気温の低下に伴い売上を伸ばしている。
●野菜が高いことから、冷凍野菜、野菜飲料、漬物が好調であった一方、酒粕や麴などの漬物商材は大きく売上を落とした。

<ボジョレー・ヌーボー、冬ギフト>
●ボジョレー・ヌーボーは高単価の商品、-halfサイズが好調であったが、売上ボリュームは減少傾向となっている。
地域の国産ヌーボーなどが人気で購買のシフトもみられる。
●ボジョレー・ヌーボー解禁に合わせて、ローストビーフ、チーズ、インスタペーパーのバゲットなどの提案の事例があり、概ね好調であった。
●冬ギフトは、果物、スイーツ、菓子ギフトなどの動向が良かったほか、
昨年はWHO発表の影響を受けて低迷したハムギフトが回復傾向となっている。